

---

# 裏の世界にまきこまれたようです

水希裕大

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

裏の世界にまきこまれたようです

### 【Zコード】

N7198X

### 【作者名】

水希裕大

### 【あらすじ】

出会いは偶然、いや運命だったのかな・・・

平凡に過ごしていた高校生2年生、鳴瀬亮はある日、理由も分からず襲われる。警察にも相手にされず困っていたところに後輩の女の子が・・・そして彼は裏に巻き込まれてく

主人公の周りを中心に起ころる様々な事件を仲間とともに突き進む学園バトルストーリー・・・多分(笑)

## ふわふわ〜ぐ（前書き）

こんにちわ、水希裕大です。これは初のオリジナル小説なのでなつてない部分もござりますが許してください。この話は日本などのこの世界と少し違う点があります。

また、駄文でありますが、それでも見て貰えると幸いです

では、どうぞ〜〜

## ふるわーぐ

-----アスファルトを照りつける太陽、周りに立ち並ぶ高層ビルの数々、忙しそうに動き回っている大勢の人たち

日本のとある町のある日常。別に珍しくもないよく見られる光景。それが俺から見た故郷の印象だ。まあ、世界を知らない一般人が自らの故郷”不思議な場所だ”などと考える人はなかなか居ないだろうが・・・・・

いきなりこんなことを書くのもおかしいと思つてはいるんだが、なにぶん暇人なのだ。そうだ自己紹介でもしようか。

俺の名前は、鳴瀬亮『なるせりょう』、職業というなら高校生、あと3日後に2年生になる。別段特別なことはないただの高校生だ。こんなことを書いてるからって、平凡は嫌だとか思つていたり、こんな世の中嫌だと嘆いてるような奴ではない。一応、夢もあるし人生もそれなりに楽しんでる。ただ、春休みというものは何かを始めたくなる、そういう季節だ。少なくとも俺はそう思つてはいる。だから、今俺はこれを書いている、まあ、何がいいたいかというと俺は友達が居ないからこれを書いて自己満足してるイタイ子じゃない、それを察して欲しい。

初めてだから、うまく書けなかつたがまあいいよな。それでは-----

ガチャツ、ガチャツとドアノブをまわす音が聞こえる、それが何度もか続きピタツと止まる、

「お～い亮、昼飯食いにいかね～か? どうせまだ食つてないんだろ?  
?」

慣れ親しんだ陽気な声が、聞こえる。ビリヤードアイスが来たようだ。

「おう、いくいく。少し待つてくれ!」

亮はそつとまたノートパソコンに向かをを打ち始めた

「 - - - - 今日はとりあえず終了! - - - - -

打ち終わると保存して、手早く電源を落としパソコンを閉じる  
そして着ていたジャージを脱ぎ、外に出られるような格好に着替え  
る。

「財布よし、部屋の鍵よし、携帯電話よし! - - -

持ち物を確認して部屋のドアを開ける。するとそこには彼の親友が  
笑顔で立っていた

家を出て約5分程度ぐらいたつたいま、彼らは古びたラーメン屋にいた。

「JURIのラーメンは最高だぜ。」

そういうながら彼らは毎食をとつていた。食べる合間に適当な会話をしながら食べている

「やつ言えば、俺もつこに先輩だな。いやはや楽しみだぜ~」

「でもか、正直あんま関係ないよな。かかる機会も少ないし···

「

ま、それもそうだな、と彼らは残りを食べ始めた···隣に座っていた客のひとりが

「やつと見つけたぞ···。」

とつぶやいたの聞き逃して···

青年の日常はこのときからおかしくなり始めたのだりつ、そして数日後、彼は一人の少女と出会う

春、それは出会いの季節。それは決していい出会いばかりとは限らない。その出会いによつて彼らの平凡な日常は少しずつ狂つていくのだが・・・・・

## ふれわーぐ（後書き）

やつぱりオリジナルは難しいです、プロローグだけでそれがよく分かりました

次回は、ついにソロインとの出合いです

次回もぜひ見てください

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7198x/>

---

裏の世界にまきこまれたようです

2011年11月13日07時28分発行